

## バイオスタウン構想分析DB

[【リンク】始良町バイオスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
34	2009.4.30			鹿児島県	始良町	45,868	102.52
構想の要約		始良町では、賦存量の多いバイオマスのうち利用可能量の多いし尿・浄化槽汚泥をメタン発酵によって電気や熱、液肥として利用、林地残材や竹材を飼料化やチップ・ペレット化のほか、バイオマスプラスチックなどへマテリアル変換し、地域内循環を基本とした利活用を展開する。					
構想に盛り込まれた事業		①メタン発酵システム ②紙オムツ再資源化システム ③BDF 生産システム ④肥料化システム ⑤木質バイオマス及び未利用竹利活用システム ⑥飼料化システム					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材	○		
製材工場等残材	○	その他( )			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙	○				
下水汚泥など	○				
その他( )					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造	○	ガス化	
その他( )		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他( )	

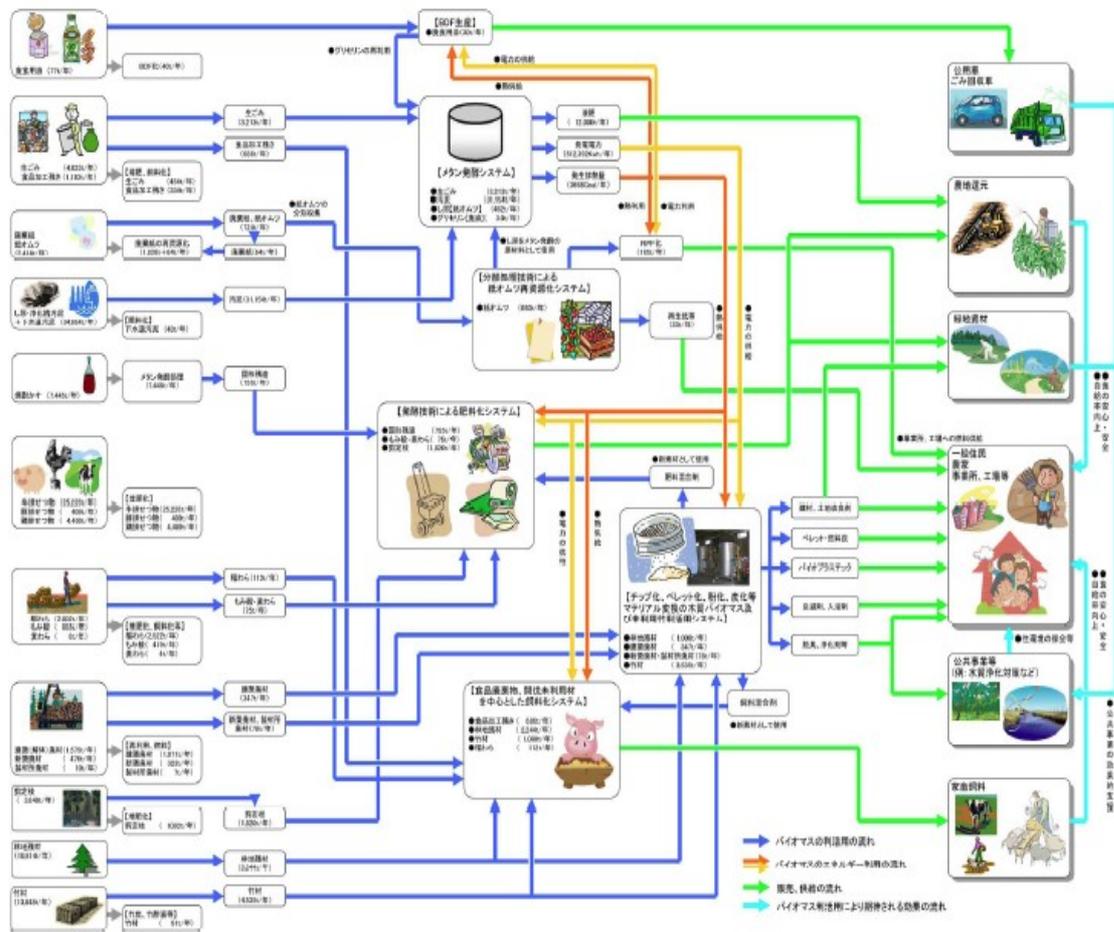
バイオスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量	炭素換算 賦存量	変換・処理方法	目標利用量	炭素換算 目標利用量	利用・販売	目標 利用率
<b>廃棄物系バイオマス</b>							
生活系生ごみ	2,560 t	113 t	・中温湿式メタン発酵 ・堆肥化	2,304 t	102 t	・液肥、堆肥(農業利用) ・施設電力、熱(温水)利用	90.3%
事業系生ごみ	1,463 t	65 t		1,363 t	60 t		92.3%
食品加工残さ	1,192 t	53 t	・飼料化	1,020 t	45 t	・飼料(畜産利用)	84.9%
家畜排せつ物	30,044 t	1,792 t		30,044 t	1,792 t		100.0%
(肉牛ふん尿)	25,226 t	1,505 t	堆肥化	25,226 t	1,505 t	農業利用	100.0%
(豚ふん尿)	409 t	24 t		409 t	24 t		100.0%
(ブロイラーふん)	4,289 t	256 t		4,289 t	256 t		100.0%
(採卵鶏ふん)	120 t	7 t		120 t	7 t		100.0%
廃棄紙	1,690 t	832 t	再生紙等再資源化	1,690 t	832 t	再生紙等販売	100.0%
紙オムツ	724 t	49 t	・PPF化 ・中温湿式メタン発酵 ・再生紙等再資源化	660 t	45 t	・重油代替燃料、 ・再生紙等販売 ・液肥(農業利用)、施設電力、熱(温水)利用	91.8%
焼酎かす	7,445 t	329 t	メタン発酵処理(電力、熱)、固形残渣の肥料化	7,445 t	329 t	・施設内電力、温水 ・農業利用	100.0%
廃食油	77 t	55 t	BDF化	70 t	50 t	公用車、ゴミ回収車燃料	90.9%
し尿・浄化槽汚泥	34,616 t	3,323 t	中温湿式メタン発酵	31,154 t	2,991 t	・液肥(農業利用) ・施設電力、熱(温水)利用	90.0%
下水道汚泥	48 t	5 t	肥料化	48 t	5 t	農業利用	100.0%
建築解体廃材	1,575 t	693 t	・チップ化、ペレット化、炭化 ・マテリアル変換	1,418 t	624 t	・マテリアル利用(農業、畜産、事業者、一般家庭、公共事業等に供給・販売) ・ボイラー等燃料(事業所、ハウス農家等へ供給)	90.0%
新築廃材	476 t	210 t		400 t	176 t		83.8%
製材所廃材	10 t	2 t		8 t	2 t		100.0%
剪定枝	3,640 t	811 t	堆肥化、肥料化	2,912 t	649 t	堆肥、肥料(農業利用)	80.0%
<b>廃棄物系バイオマス 計</b>	<b>85,560 t</b>	<b>8,332 t</b>		<b>80,536 t</b>	<b>7,702 t</b>		<b>92.4%</b>
<b>未利用バイオマス</b>							
稲わら	2,802 t	802 t	堆肥化、飼料化、敷料化	2,634 t	754 t	農業利用、畜産利用	94.0%
もみ殻	665 t	190 t	堆肥化、マルチング、肥料化	493 t	141 t	農業利用、緑地資材等	74.2%
麦わら	6 t	2 t	堆肥化、肥料化	5 t	1 t	農業利用	50.0%
林地残材	10,814 t	2,409 t	・チップ化、ペレット化、炭化 ・マテリアル変換 ・飼料化	3,244 t	723 t	・マテリアル利用(農業、畜産、事業者、一般家庭、公共事業等に供給・販売) ・ボイラー等燃料(事業所、ハウス農家等へ供給) ・飼料	30.0%
竹	13,048 t	2,330 t		4,626 t	826 t		35.5%
<b>未利用バイオマス 計</b>	<b>27,335 t</b>	<b>5,733 t</b>		<b>11,002 t</b>	<b>2,445 t</b>		<b>42.6%</b>
<b>合計</b>	<b>112,895 t</b>	<b>14,065 t</b>		<b>91,538 t</b>	<b>10,147 t</b>		<b>72.1%</b>

# バイオマスタウン構想概要図 (バイオマスタウン構想書からコピー)



### 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)